

雑品倉庫

第73号



唐池学園は建て替えます

(2025年工事着工 2027年完成予定)



ここにも亦、平和と敬虔と
休みなき精進とがありはしないか

社会福祉法人唐池学園協力会
令和6年7月発行

社会福祉法人唐池学園の各施設の所在地等



法人本部・児童養護施設 唐池学園

所在地：〒252-1124 綾瀬市吉岡 2377-口

電話：0467-78-0012／0467-78-0514、FAX：0467-76-3006

施設認可年月日：昭和24年4月1日、定員：45名

グループホーム「ななの家」・「よんの家」定員：各6名



児童養護施設 強羅暁の星園

所在地：〒250-0408 足柄下郡箱根町強羅 1320-203

電話：0460-82-2853、FAX：0460-87-7275

施設認可年月日：昭和22年6月19日、定員：50名



乳児院 ドルカスベビーホーム

所在地：〒252-1124 綾瀬市吉岡 2380-2

電話：0467-78-1054、FAX：0467-70-3827

施設認可年月日：昭和44年4月1日、定員：25名



保育所 つぼみ保育園

所在地：〒252-1107 綾瀬市深谷中 5-20-48

電話：0467-78-0641、FAX：0467-79-2908

施設認可年月日：昭和42年5月1日、定員：110名



保育所 吉岡保育園

所在地：〒252-1124 綾瀬市吉岡 1980

電話：0467-78-4324、FAX：0467-78-4365

施設認可年月日：昭和50年4月1日、定員：60名



障害者支援施設 貴志園

所在地：〒252-1124 綾瀬市吉岡 2381-1

電話：0467-78-4178、FAX：0467-79-5119

施設認可年月日：昭和49年9月1日

定員：入所30名 通所40名、グループホーム設置

総合支援法による、共同生活援助（グループホーム）、生活介護事業、就労継続B型事業、就労移行・定着支援事業、放課後等デイサービス事業、相談支援事業、自立生活援助事業を行っています。

また、綾瀬市から、基幹相談支援センター、委託相談支援の委託を受けています。

「目次」

- 役員寄稿「建て替えに向けて ～大切にしたいもの～」・・・ P 1
- シリーズ連載「千鳥足の価値観」・・・ P 2
- シリーズ連載「野の花のこと」・・・ P 3
- 施設の紹介
〔 児童養護施設 唐池学園（P4）、児童養護施設 強羅暁の星園（P5）、乳児院 ドルカスベビーホーム（P6-7）、
つぼみ保育園（P8）、吉岡保育園（P9）、障害者支援施設 貴志園（P10-12）、
- 職員寄稿（つぼみ保育園）・・・ P 13
- 戦後横浜の戦争孤児を保護した民間児童養護施設・・・ P 14-15
- 特集「唐池学園は建て替えます!!」・・・ P 16-17
- 法人「かわら版」 ～令和5年度のトピックス～・・・ P 18
- 令和6年度イベントのお知らせ・・・ P 19
- 協会の会費・寄附金をくださった方々の紹介・・・ P 20
- 今後予定される大型事業等への協力をお願い・・・ P 21
- 令和6年度新任職員紹介・・・ P 22
- 令和5年度決算報告(法人単位貸借対照表)・・・ P 23
- 読者の皆様からの感想やご意見・・・ P 24
- 役員等名簿・編集後記・読者プレゼントのお知らせ・・・ P 25
- 裏表紙「各施設の所在地等」



第73号刊行に寄せて

唐池学園協力会 会長 高松 邦夫

新型コロナウイルス感染症の影響も落ち着き、穏やかな日常が戻りつつある今日この頃、皆様はいかがお過ごしでしょうか？

突然ですがここで、悲しいお知らせをさせていただきます。

唐池学園の書記として昭和40年に入職され、その後昭和48年4月からつぼみ保育園の園長を33年間務められた手塚宏子先生が昨年9月に亡くなりました。理事・評議員としても長い間法人の運営にご尽力された手塚先生のご逝去は、関係者一同、深い悲しみと喪失感に包まれております。

生前のご厚情に深く感謝するとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

今年は年始の能登半島地震、4月の台湾地震と、多くの方々が被災されました。心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。

悲しいことが続きましたが、今年は「甲辰（きのえたつ）」の年。「成功の芽が成長し、形を整えていく年」と言われています。困難を乗り越え、支え合い、希望に満ちた社会を作り出すことを願います。

さて、前号でもお伝えした唐池学園の建替え計画が順調にその歩を進め、形が整いつつあります。

今回は特集号としてページを増量し、計画の概要を皆様にお届けしますので、新しい施設で生活する子どもたちや職員たちの姿を想像していただくと幸いです。

役員寄稿

建て替えに向けて ～大切にしたいもの～

理事（唐池学園） 加園 貴代子

この春、唐池学園に7名の新しい職員を迎えました。このように多数の新人を迎えることはなかなかないことです。子どもたちと遊んでいる新任職員らの姿に、活気と新鮮さを感じさせてもらっています。仲間となった彼らが、「大変だけどよかった」「楽しい」と思える体験を積み重ね、そして続けていってほしい、とみんなで見守っている日々です。

先日、ある卒園生と話す機会がありました。40年近く前の思い出です。中3のときに学園に来て「初めてコーヒーが美味しいと思った。」「ドリップでコーヒーを入れるのも初めてだった。今でも忘れられない。」と語ってくれました。



またある卒園生は会うたびに、高校生の時のお弁当のことを何度も話題にしました。その日のお弁当のトンかつにソースをかけて口に入れたが、思わず「ゲー」となってしまったと、そのチューブはあの信玄餅のたれだったのです。



卒園生たちの昔話には「学園のカレーがうまかった」と多くの声が挙がります。

そして「卵焼きはほんわかのが一番美味しかった」や「はーらんのおにぎりはでかくてうまかった」、「おにっこ のぐちゃぐちゃ焼きが食べたい」、「〇〇の・・・」

などなど、それぞれの職員が作ってくれた料理とそれにまつわる話題で盛り上がりま

す。私たちは何となく毎日のお弁当を作り、せがまれて夜食を作っていたのですが、彼ら彼女らの記憶に刻まれている話を聞くと、改めて「食」の大切さを思い知らされます。



現在学園は新園舎の建て替えに向けて検討を重ねています。

一から新しい建物を考えることはとても大変な作業です。設計士の方には何度、図面を書き換えていただいていることでしょう。児童養護施設は地域の子育て支援を兼ね備えることも求められていますが、まず「子どもにとってより良い生活の場とは・・・」を私たちがどのように考えるか問われます。その中で「食事作り」を子どもの生活に密着したものにしたい、このことは長く勤めてきた職員にとっては、これまでやりたいけどやりきれないものとして宿題となっていました。建て替えを機にその宿題に取り組むことになります。

子どもたちを取り巻く環境はずいぶんな速さで変わっています。遊びや学習、余暇の過ごし方も個人個人で…、が多くなっています。児童養護施設の生活もその波の中にいます。しかし、一人もいいけど誰かと一緒にもいい、という思いも持っていてほしい、毎日の「食事」はそのよい場となり得ます。

「美味しい」、「嬉しい」、「楽しい」にする機会は毎日あるということです。

そして卒園生が語るように大人になったときの思い出や忘れられない記憶になることもあります。

新しい園舎がそんな期待に応えられる建物になるよう、みんなで頭を悩ましながら、意見を出し合っています。

世の中の実際は、楽しい心ウキウキすることよりも辛い、悲しいことの方が多い。
人との別れもその一つである。

卒業式、勉強も遊びも喧嘩もした友との別れ。会社にあっては職場の友と毎日のように
口角泡を飛ばしながら酒を酌み交わした日々の同僚との別れ。

生き方を教えてくれた師との別れ。数えたらきりが無い。

しかし、中でも一番悲しく辛いのは死の別れである。

何故、そんなに悲しく辛いのか。

それは、「死」をもう二度と会えない永遠の別れとして捉えるからであろう。

そして思い出の詰まった「貯金箱・ポケット」は忘れ得ぬことばかりだからであろう。

人はこの貯金箱・ポケットから一度にすべては出さない。

一つずつ過去を振り返りながら小出しにする。

沢山入っている人はそれに比例して浜辺に打ち寄せる波のように断続的に繰り返し押し
寄せてくる。一回限りの波ではない。そのたびに思い出がスクリーンに映し出される。
だから辛いのだ。

ある学者が「生きている死者」という言葉を使った。

肉体はなくなっても死者（魂）となって生きている。常に自分の横にいる。何か間違え
を起こそうとなった時に「ダメ。ダメ。そうじゃないよ」とささやいてくれている。

つまり生きている死者である。死者となって存在しているのだ。

「去る者は日々に疎（うと）し」というが、公私ともに温情を受けた
恩人にそう簡単に「忘却の彼方に」と、この言葉を使えない。その恩人
が今もここにいる。

私にとって「貯金箱・ポケット・忘却の彼方が使えない恩人」

その人は、つぼみ保育園の2代目の園長 手塚宏子先生である。



感謝



今回は畑でよく見かける、農家にとっては目についたらすぐ引っ
こ抜かれるであろうスベリヒユを紹介します。

この名前を聞いて何ですかそれと思われた方、見たことはあるけ
ど名前は分らない方、しばらく読み続けてみてくださいきっと興味
を持っていただけるとおもいますよ。

このスベリヒユという名前の由来からいくと、その葉が滑らかで
茎もつるつるしているからだといわれています。ところでこの草、えらく受験生に嫌われているとか、
「そりゃそうでしょうよ！縁起でもないですよ、ね、」

さて、まずは大きな特徴は暑い夏の炎天下でも平気で過ごせること、そのための仕組みをもってい
ることです。さらにこのスベリヒユは茎や葉に多くの水分や粘着物を含んでいるので真夏を好む理由
が理解できます。このように厚ぼったい葉や茎を持つ植物を多肉質植物といいます（サボテンがそう
です）。さて、もう一つの特徴は赤紫色の茎は横に這うように広がっていくということです。多分暑い



太陽の光と熱をうまく浴びたいからでしょう。

次に、花は地面を這う茎の先に直径1cmにも満たない小さい黄色
の花を咲かせます。日の出とともに開花し昆虫の来訪を待つて早々と
萎んでしまうようです。

最後に、果実について触れると、これがなんと前回取り上げたオオ
バコと同じ蓋果（果実の上半分がパカッと割れて種子を出す）だった
とはうれしくなりました。まだありました、それは五色草とも呼ばれていることです。持ち合わせた五
色とは、まず葉っぱの緑、次に茎の赤、花の黄色、種子の黒に根っこの白、いかがですか？

さてこのスベリヒユは、万葉の時代からその感触と独特のぬめりが
重宝がられ、湯がいて煮つけ、おひたし、すみそ和え、汁物の具等と
して食べられていました。また、薬効としても利尿、解毒作用に利用
され、又蜂やムカデといった毒虫にもこのしぼり汁を塗ると効果があ
ったようです。

最後にこのスベリヒユにも各地に方言として伝わっていますので
少し紹介したいと思います。

カンカングサ、ヒデリグサ（熱い真夏に咲くので）、ノンベエグサ、ヨッパライグサ（茎が赤いから）、
仏の耳（葉の形が仏様の耳に似ているから）、スベランソウ（スベリでは縁起が悪いから）、その他ヒョ
ウナ、ヌメリヒョウ、タコグサ、ウマビユといった呼び名があったようですよ。

山形県ではヒョウと呼んで食用にしているようです。ヒョウのおひたし、気になりますね。



思い出は心の中に大切に残して、そして未来へ

児童指導員 竹林 雄飛

僕が唐池学園に就職して 20 年になります。当時は身近に動物がたくさんいたように感じます。犬が3匹、猫が2匹いて、子供たちは散歩などのお世話を通して、命を慈しむ気持ちも学んでいたように思います。ただ、近年は喘息やアレルギーを持つ子どもや職員も多くなり、施設で動物を飼うことが難しくなっていました。綾瀬市という自然に囲まれた環境に建っているため、飼っている動物がいなくなっても、迷い猫がやってきたり、稀に狸まで見かけたりすることもあります。それでも、動物とじかに触れ合う機会はほとんどなくなってしまい、とても残念に感じています。



動物がいなくなっただけではありません。中庭の真ん中に生えていた大木の伐採・職員室の改築・グループホームの開設・部屋の移動や統合など、僕が勤め始めてからの間にもたくさんの変化がありました。振り返ってみると、その時々気持ちの揺れがあり、考えることもさまざまにありました。しかし、日々を忙しく過ごしていく中で、「変わってしまったものを意識して思い出そうとしなければ」前からそうだったような気持ちになってしまうから不思議です。



そして 2025 年、唐池学園は今までの 1 番大きな変化の時を迎えます。約 60 年間、たくさん子どもたちと職員が過ごしてきた園舎を建て替えることになったのです。

「どんなところに住みたいか」子どもたちにも意見を募り、みんなで楽しみを見つけながら、前向きに日々準備しています。ただ、この建物で育ち巣立っていった子どもたちからすると、実家がなくなってしまうようなさびしさがあるのではないかと思います。毎日くぐっていた玄関、食事を待っていたリビング、そして自分がつけてしまった建物のキズ、「たくさんの」という言葉では言い表せないほどの思い出があちこちに溢れている…建て替えが決定した際、みんなが考えたのは、彼らのそんな思いです。

自然や環境だけでなく、人の思いや心の持ち方も変わるのかもしれませんが。僕自身の考え方も 20 年前とは随分変わったようにも思います。長く勤めてきた職員ほどそんな思いは強いのではないのでしょうか。それでも、建物が変わっても、これまでここで一緒に過ごしてきた時間を忘れることはありません。思い出は心の中に大切に残して、これまでと変わらず「ただいま」「おかえり」と言える場所を作っていきたいと思っています。

ボランティア、招待について

里親支援専門相談員 田中 真菜美

暁の星園では髪カットボランティア、保育ボランティア、陸上ボランティアなどたくさんの方のご協力をいただき、活動をしています。

箱根ならではの招待行事があり、子どもの誕生日月にホテルのランチに招待していただき、有意義な時間を過ごしています。風船や人形などで装飾された素敵な部屋に案内され、ゆっくりと食事を楽しみます。子どもだけでなく職員も楽しみな招待行事です。



農作業体験では、玉ねぎ植えから始まり、収穫までしています。地域の方との触れ合いもでき、社会経験を学ぶ機会にもなっています。「自身で収穫して食べる」は子どもにとっても特別な体験です。貴重なお時間をいただける事に感謝しています。

まだまだ暁の星園と関わって下さっている方は多くいます。皆様に感謝し、子どもの支援に繋がっていきたいと思っています。



休日の過ごし方

強羅暁の星園の休日の過ごし方をご紹介します！

子どもたちは、テレビを観てのんびりと過ごしたり、パズルや人形遊びをする子どももいます。ですが、やはり元気な子どもたち。園庭で鬼ごっこやバレーボール等をして遊びます。そして、子どもは職員と競う事が好きなようで…。職員はへとへとになりながらも子どもに負けない元気とパワーで戦います！また、女子寮の子どもたちはソフトボールの練習にも励んでおり、小学生～高校生のみんなで声を掛け合いながら練習をしています。時には悔し涙が出る子もあり、ソフトボールを通じてさまざまな感情と向き合い取り組みます。

今年の GW は小学校の校庭をお借りし、園内レクリエーションを行いました。貨物列車ゲームやドッジボールなど、幼児～高校生まで全員参加で遊びました。



学童寮のお姉さん、お兄さんが混成寮(2～6 歳)の幼児さんたちのフォローや優しく声を掛けている姿が多く見られ、子どもの成長を感じた 1 日でした。

これからも子どもたちと共に楽しい休日を送りたいと思っています！

保育士 若葉 晴夏



ドルカス菜園

栄養士 横山 紗季

数年ほど前から、栄養士が中心となり小さな花壇スペースやプランターを使って野菜やいちごを育てています。

無事に収穫のときを迎えた野菜たちは、子どもと一緒に収穫します。

その場で味わってみたり、夕食の材料にしてみたりと、日々の生活の中で“自分で採った野菜を食べる”という経験を取り入れることで、例えば普段の食事に入っているキュウリやブロッコリーが、

『いつも出てくる苦手なあいつ』から『ぼく/わたしが採っただいじなお野菜』

に变身したりします！ 子どもの“経験”がもつ力は本当にすごいなと、感心してしまいます。

採れる量はたくさんではないけれど、小さな体験から、確実に“何か”を吸収してくれる子どもたちの姿に、やりがいを感じます。



～入職して1年経ちました～

1年間を振り返ると、毎日があっという間に過ぎていきました。日々、教えて頂きながら一つひとつを学んでいきました。

これからも学びを大切に子どもたちと関わり、関係性を深めていきたいと思っています。

(幅 夏樹)

この1年間を振り返ると本当に毎日が「学び」だったと感じています。うまくいかず悩む事もたくさんありましたが、それ以上に子どもの成長を感じられることがとても嬉しかったです。

これからも子どもと良い関わりができるよう学んでいきたいです。(菅谷琉月)

この1年間を振り返ってみると、一日一日がとても濃く充実した日々であったと感じています。

子どもたちとの関わり、面会対応や記録、行事、たくさんの覚える仕事がある中で子どもたちからの風邪がうつりダウンしたことも・・・。

1年を通して何よりも大切に思うことは子ども達の気持ちを受け止め、寄り添った養育をしていくことです。2年目になり教える機会も増えてきました。

慣れすぎず、一つ一つ丁寧に共に成長していきたいと思います。(出町香織)



里親センターひこばえ「ひこばえってどんなところ？」

里親センターひこばえは唐池学園法人の中の一つですが、実際どんなことをやっているのかわからない方も多いのではないのでしょうか。今回は、ひこばえの活動を紹介します。

商業施設や地域などでのパネル展示やパンフレットの配布をしています。

里親・養親が集まって交流する場所の提供をしています。

毎月オンライン説明会を行っています。興味を持たれた方は、お気軽にご参加ください。

里親家庭で育つ実子同士のネットワークを広げる活動に取り組んでいます。

啓発で配っているひこばえグッズです。



これは支援の一部ですが、ひこばえは必要な人と人をつなぐという役割が大きいのかもしれません。ひこばえのことが少しイメージできたでしょうか。

～園庭が新しくなりました～

保育士 木谷 理沙

つぼみ保育園は1967年5月に綾瀬市で初めてできた保育園です。何度かの建て替えを経て、この度、園庭が広くなりました！！もとは職員宿舎であった木造の建物を取り壊し、大きな砂場が完成しました。色とりどりのブロックに囲まれ、遊びが広がるようにテーブルも設置され水道も近くにあります。今まで以上に大胆に、砂場での遊びを楽しめるようになれば良いな、と、子どもと職員の思いがたくさん詰まった砂場となりました。

保育方針にも“丈夫で元気で思いやりのある子どもを育てる”と、あるように新しくなった大きな砂場で、様々な年齢のお友達が一緒になって大きなお山を作ったり…と、異年齢交流が益々楽しめる空間にしていきたいです。



～植物や生き物との触れ合い～

つぼみ保育園では様々な植物を育てています。花壇に植えている季節ごとに変化するカラフルな花の他に、野菜の栽培も行っています。

子どもたちと相談しながら何を育てるかを決め、順調に生長するように水やりや草むしりも経験します。そして実った野菜を収穫して給食で食べることを楽しんでいます。日頃はお野菜の苦手な子ども「おいしいね！」と、お友達と顔を見合わせ嬉しそうに食べています。

育てているものは野菜だけに留まらずレモンやミカン、イチゴまで！小さいクラスの子どもたちも「お花があるよ」「色、違うね」と、興味津々に観察しています。時には保育士も「これ何だろう」と、思う野菜や果物もあり、子どもたちと一緒に生長を見守り楽しみにしています。

そんな果物の木には春になると虫がたくさん遊びに来ます。葉っぱに卵を産むこともあり、それを幼虫からサナギ、サナギから蝶々へと成長していく様子を間近で観察することもできます。

また、正面玄関前にはメダカの水槽もあり、親子でのぞき込みながら「おはよう」「また明日ね」と、声を掛けているかわいらしい姿が沢山見られます。

つぼみ保育園ではこのように命を育てる難しさや大変さを小さい頃から自然と身近に感じています。今後も日々の生活から命や物の大切さを伝えられる環境を大切にしていきたいです。

『食育について』

保育士 濱田 恵美子

吉岡保育園では1年を通して様々な食育体験を行っています。

園の畑では夏は人参・トマト・じゃがいも、冬は大根・さつまいも・里芋などを栽培しています。小さな苗から成長し、やがて大きく育ち食べ物になるということを子どもたち自身が主体性を持って肌で感じられるよう関わっています。

また、食育を通して野菜嫌いだった子が自分で収穫したから、作ったから『食べてみよう』『あれ、おいしい』と心の変化も見られ改めて食育の力の偉大さを感じています。

切り干し大根作りでは、自分達で育てた大根を自分達の手で抜き、洗い調理をします。初めのうちは『ドキドキする』『うまくできないかも・・・』『お家でやったことある』と様々な声が聞こえていましたがどの子も集中して皮むきに挑戦していました。皮むきのあとはスライサーを使って大根をカットし、専用の網に並べてしばらく天日干しをします。毎日観察をする中で『小さくなってきたね』『匂いが違う』『色が変わった』と変化に気が付く子もいました。

切り干し大根が出来上がったら給食の先生に調理してもらいみんなで食べると、自分達の手で1から作った切り干し大根は特別で意欲的に食べてくれる姿が見られました。保育者として、子どもたちが様々な体験を楽しく行えるようにサポートしていきたいと思っています。



地域生活の継続に向けた取り組みについて

貴志園 地域生活支援課 中嶋 丈志

今日障害福祉サービス事業では地域移行、地域生活の継続への取り組みが大きくなり、共同生活援助事業(グループホーム)の役割が利用者の地域生活を支える大きな役割となっています。そこで今日は貴志園で運営する共同生活援助事業(グループホーム)の紹介と今後の取り組みについてご紹介させて頂きたいと思います。

1. 共同生活援助事業(グループホーム)の紹介

貴志園では現在30名の利用者の方が綾瀬市・海老名市にある計4つのグループホームで地域生活を送っています。職員は総勢30名程(生活支援員・世話人・宿直)で日々の生活を支えています。具体的には食事の準備や生活援助(居室の掃除や洗濯物等の手伝い)、また夜間・早朝に各居室を巡回して体調不調や何か変わった事はないか確認を行っています。私達職員は、利用者の皆さんにとってグループホームは自分達(利用者の方々)の家であると思い、アットホームな雰囲気を大切に何でも言える、自分らしく生活できる環境を整えていけるように取り組んでいます。各グループホームの詳細について簡単にご紹介させて頂きます。(写真左から)

* 椿地蔵ホーム

定員9名(男性3名、女性6名) 2棟に点在(3LDKに2人ペアで生活、一般の方も入居)

* 吉岡ホーム

定員6名(男性5名、女性1名) アパートタイプで1人1人個別に生活(3階部分)

* 宮久保ホーム

定員8名(男性4名、女性4名) 一軒家タイプで1階男性、2階女性が生活(全て個室)

* めくじりホーム

定員7名(男性5名、女性2名) 一軒家タイプで1階女性、2階男性が生活(全て個室)



椿地蔵ホーム

吉岡ホーム

宮久保ホーム

めくじりホーム

利用者の平均年齢は51歳。最年少は20代半ば又最年長は70代半ばとなり、皆それぞれに自分の夢や目標の実現に向けて励む方、年齢を重ね第2の人生をどのように送るか考える方等、1人1人これからの人生を考える時期になってきており、日々一緒に考え、悩んでいます。

日中はそれぞれに活動しており、半分の15名の方が一般就労、15名の方が貴志園の日中作

業に参加されたり、他施設の作業場に通っています。時に人間関係や仕事の事で悩むこともあり、そんな時も話を聞き一緒に悩み1つ1つ解決をしています。また地域生活をしていく上では自分の身の回りの事を少しでも出来るようになる為に、これもまた一緒に取り組んでいます。例えば定期券の購入やPASUMOのチャージの練習、買い物でレジ支払いをする練習等、より社会生活に向けた具体的な事を、社会体験支援を通して日々実践しています。

また地域生活をしていく為には、地域で決められた約束事やルールも守らなければいけません。ゴミの出し方や出す曜日について、騒音に関する配慮等私達が地域で生活していく事と同様に必要な事については各グループホームで勉強会(グループワーク)を実施してみんなで一緒に学んでいます。その他にも防災訓練を実施し、避難場所や近所の公共施設の確認をしたりしています。

このように簡単な紹介ではありますが、私達は利用者の方が一人一人その人らしい生活が実現、継続していけるように日々利用者の方と一緒に笑顔で楽しい毎日を送っています。

2. 今後の取り組みについて

私達は更なる地域生活の促進、継続に向けて令和7年4月に新たなグループホームを創設する為に準備を進めています。先程もお伝えした様に、現在利用者の方の最年長が70代半ばで60～70代の方が全体の1/3の10名になります。中には既に訪問看護や訪問リハビリといった外部サービスを利用されている方もおり、高齢化・重症化の利用者の方が地域生活を継続していく為にはどうすればよいかと考えた時、皆さんが今後も安心して暮らせる場を提供したいという想いから『第二めくじりホーム』を創設する事になりました。

今回創設するグループホームは日中サービス支援型になります。今までのグループホームは、日中は職員を配置しておらず、利用者の方も仕事や作業に出掛けている為不在となります。しかし日中支援型グループホームは24時間365日職員が配置されており、掃除や食事等の日常生活援助や日中活動もグループホーム内で実施できる事から高齢利用者の方がゆったりと安心して生活できる環境となっています。

この『第二めくじりホーム』の創設により障害のある方の重度化・高齢化や地域共生社会の推進といった利用者のニーズに合った笑顔の絶えないアットホームなグループホームを職員一丸となって作り上げていきたいと思っています。

3. おわりに

コロナウィルスの感染拡大により毎年実施していたレクレーションが中止となっていましたが、今年の3月に海老名市門沢橋にあるスーパー銭湯『おゆぎわ』に行ってきました。利用者の皆さんの満面の笑顔を久しぶりに見る事ができ、一緒に同じ時間を共有できた事はとても嬉しかったです。これからも利用者も職員もみんなが笑顔で楽しい毎日が過ごせるように頑張っていきます。

めくじりホームⅡ新築工事



イメージ図

2024年度地域生活支援課テーマ

『笑顔で始まり笑顔で終わる、そんな毎日を』



「一年を振り返って」

驚くほどあっという間の一年でした。

忙しさに翻弄されず、心にゆとりを持って仕事を楽しんでいければと思います。

(多田房代)

利用者との関わり方について苦労した1年でしたが、先輩職員がどのように関わっているのかを学んだ1年でもありました。

学んだことを活かし自分流の支援の仕方をこれから見つけて行けるように頑張りたいと思います。(石井瑞希)

毎日覚える事が沢山で1年間あっという間でした。

利用者と共に成長できるよう頑張りたいと思います。(津山竜大)

令和5年4月入職 戸部 菜那

2歳児の担任になり、初めてのことで不安になってしまいました。

自分が不安に感じたりすると子どもたちにも伝わったりする為、保育をやっていく中で失敗してもいいから子どもたちと楽しみながら行っていこうと思い、制作や活動をしていきました。

その中で子どもが笑顔で楽しんでいたり、「次やりたい」と、伝えてくれた時、これをやって良かった、次はどんなことを行おうかと思うことができ、不安もなくなっていました。また、遊びの中でパズルやヒモ通しなど、最初は一緒に行いながら遊んでいたが段々と一人でできるようになったり、友達と教え合ったりしているのを見て一人一人の成長を感じることができました。



令和6年4月入職 阿部 朋子

2024年4月～2歳児クラスを担当しております。

保育士歴や幼稚園教諭歴はあるものの、つぼみ保育園としては1年目になります。

私自身、保育士歴とは別に、一般業に務めていたこともあり様々な経験を保育につなげていけたらと思います。

つぼみ保育園の長年の積み重ねてきたものを大切にしつつ、他園からの新しい風を吹かせていけるような1年を過ごしていきたいと思っています。

よろしくお願い致します。



戦後横浜の戦争孤児を保護した民間児童養護施設（抜粋） ①

唐池学園の創設期の記録を調べていたところ、横浜開港資料館の主任調査研究員 西村 健さんが標題のことを詳細にまとめた論文を発見しました。

この論文には故鶴飼正男先生の言葉なども盛り込まれています。

来年度、創設 80 周年の節目を迎えるにあたり、唐池学園にとって「今まで」と「今」と「これから」を繋ぐ非常に貴重な資料だと感じ、唐池学園のことを記録した箇所を抜粋し掲載することにしました。皆さま、是非ご一読ください。（広報・研修委員会 庶務 勝俣 浩之）

唐池学園の活動

戦後、横浜の戦争孤児を保護するために最も早く新設された保護施設が唐池学園（現、社会福祉法人唐池学園）である。同園はそれまで全く児童養護の世界とは無関係であった当時満 25 歳の鶴飼正男とその友人の手によって設立されたことが特徴で、1945（昭和 20）年 10 月に藤沢市郊外の唐池に存在した、旧海軍施設部の判任官宿舎で孤児達の保護を開始した。鶴飼が孤児の保護を志したのは、以下のような動機があった。

何でこの仕事に入ったのかとよく人に問われることですが、やはり特殊な動機がありました。それは私が関東大震災の折の孤児だったということでした、あの時、本所被服廠跡で両親と別れた私は養父母に拾われて育てられ成人したのです。ですから戦争末期になって、戦災孤児が浮浪児化して巷に流れ出して来たことが、チラホラ新聞に出るようになったことから、彼らの一人か二人を我が子として育てようと思っていました。そうすることが、当時すでに故人であつた、養父母の霊をもつともよろこばせることだろうと考えたからです。

ここでは、自らが震災孤児であったことが、戦災孤児を保護する動機として記されている。

鶴飼は東京市本所区（現、墨田区）の厩橋に生まれ、震災時に本所被服廠跡で両親を亡くすが、鶴飼家で実の子供として育てられ、母の死の直前に自らの出自について知ることになる。

鶴飼はこの事実に感激し、自らも孤児を育てることを決意するが、上野に出ておびたしい孤児が路上生活を強いられている姿に衝撃を受け、本格的な孤児の保護を志すことになる。『所誌』では、天幕保護所の顔役とのいざこざの末に鶴飼が天幕の孤児を保護した事に加え、1951（昭和 26）年には 31 人の孤児が保護されていたことが記されている。

鶴飼は、1952（昭和 27）年に『むぎめし学園』（同光社磯部書房発行）を記し、唐池学園の園児の生活について詳細に記録をしている。同書によれば、同園で保護した孤児の中には、医者も投げ出すほど重度の疥癬にかかった孤児や天然痘に罹患した孤児がいたほか、鹿児島から無賃乗車で横浜にやってきた孤児、数日で数千円を稼ぐスリ名人の孤児、皇居前広場に落ちている避妊具を洗って娼婦に販売し巨利を得る孤児、米軍の物資を盗んで刑務所生活を送った経験のある孤児など、過酷な環境下で荒んだ生活を送る孤児の実態が詳細に記されている。また、保護した孤児のなかには頻繁に脱走する者があり、その理由について鶴飼は以下のように記している。

戦後横浜の戦争孤児を保護した民間児童養護施設（抜粋） ②

当時は、園児の数人は逃亡常習でした。施設としての設備も不完全な上に、当時の配給状態では三度の雑炊もやっとというのに、横浜に出れば進駐軍ハウスで、我々でさえ羨しくなるような贅沢なおいしいものが、ふんだんに喰べられるチャンスがあった上に、それが外れても、闇市の手伝いとか、行人の恵みとかで、とにかく喰べるに事かくことはありませんでした。さういう次第で、所謂愛情のみは豊かに注いでも一向にその験が現れなかったのです。只、ゆきっぱなしでなく帰って来る子がいたのが、些かの取柄でした。

ここでは、孤児達が施設から脱走する理由として、横浜の市街地で豊富に食物が得られたことが記されている。孤児達が脱走する度に鶴飼は伊勢佐木町や野毛に捜索に出かけ、見つければ施設に連れて帰ったという。中には数十回にわたり脱走を繰り返す孤児もあり、孤児達の育成が極めて厳しいものであったことがうかがえる。鶴飼は、孤児の保護という仕事について、以下のように述べている。

大体こういう仕事は一般の人々の考え方に未だに慈善事業的な匂が残っているので〔中略〕この仕事について未知の人は、孤児とか浮浪児とかへの同情とか、所謂愛情があれば保姆がつとまると思いがちなのですが、子供を集団でとり扱う、ことに問題児を扱うには高度の技術と理解が要るのです。その上肉体的にしても実に激しい労働ですから厳丈な躰と適当な休養場所がなくては勤まりません。

ここでは、単に愛情を持って接するのみでは勤まらない、孤児保護の実相について記されている。同書では、孤児のなかに職員を異常なまでに独占したがる傾向を持つ者があることを取り上げ、その対応に苦心したことが記されているが、それまで孤児を保護した経験のない鶴飼にとって、現場での模索が如何に困難に満ちたものであったのかをうかがうことができる。

震災孤児が戦争孤児を保護するという鶴飼の活動は世の注目を集め、多くの読者を得た『むぎめし学園』は 1953（昭和 28）年に東映東京映画によって映画化されることになる。脚色を館岡謙之助、監督を森永健次郎が担当した本映画の内容は、唐池学園で保護された脱走と窃盗の常習犯、草刈義夫に対し、学園長夫婦が様々な努力を重ねるが、結局は挫折して草刈は施設から離れ、強盗殺人犯の共犯となって警察に逮捕されるというストーリーであり、原作に記されている事実をもとに構成されている。この救われない結末は、鶴飼の「理解に富んだ心の温かい教師がいかに努力しても、又子供の方でもその愛情に応える為によくなろうと努力しても、更正することが出来ないでお互いが苦しむ、という悲劇が何故とりあげられないのかと思うのです」という問題意識に根ざしているが、こうした実感は、当時、実際に孤児達を相手にした経験を持つ者でなければ語れない性質のものであると考える。

映画評論誌『キネマ旬報』では、「この種素材を扱うにあたってよくあるケース、“愛情の勝利”を先取した間のいい感傷・問題劇でなかったこと」が評価されており、原作の持つ力が映画の魅力の大きな部分を占めていることを論じている。鶴飼の『むぎめし学園』は、当時の孤児達と職員の関係を知るうえで、重要な資料であるといえるだろう。

出典：横浜都市発展記念館-紀要第 13 号 2017 年 3 月（P26-27）

[http://www.tohatsu.city.yokohama.jp/kiyo/pdf/kiyo-13\(2017\)p21-42.pdf](http://www.tohatsu.city.yokohama.jp/kiyo/pdf/kiyo-13(2017)p21-42.pdf)

唐池学園は建替えます！！ ①

～こどもの幸せのために～ 唐池学園の建替計画について

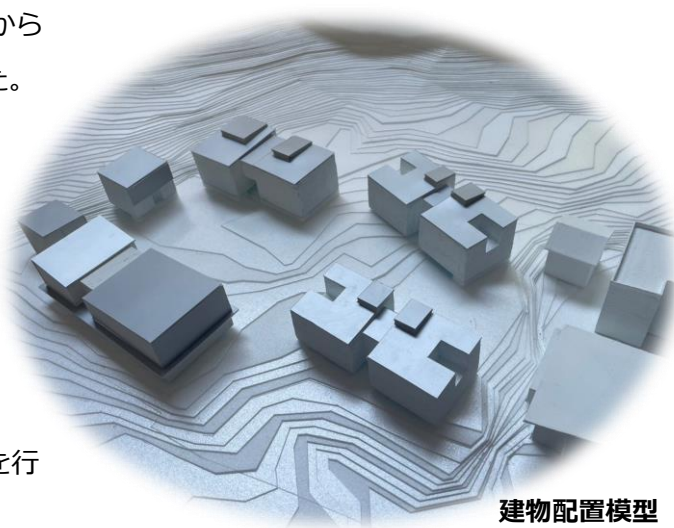
児童養護施設 唐池学園 建替検討プロジェクトチーム 安部 慎吾

唐池学園は1968（昭和43）年に藤沢市善行から綾瀬市吉岡へ移転し、現在の建物を新築しました。その建物は築50年以上が経過し、雨漏り等の老朽化が著しく、こどもたちが安全・快適に過ごすには心配な箇所が増えてきたため、建替えを計画しています。

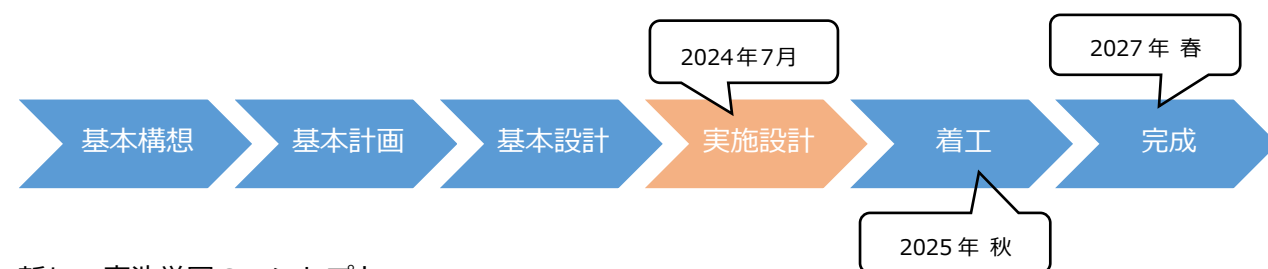
現在、唐池学園職員による「建替検討プロジェクトチーム」を立ち上げ、小グループでの話し合いや勉強会、施設見学、設計士との検討会等を行っています。

こどもたちにもどんな住まいで暮らしたいかを聞きながら、コンセプトをつくる基本構想から、建物の配置等を固める基本計画、建物の大きさや間取りを決める基本設計まで進んできました。

いよいよ、設備等詳細を決める実施設計の時期に入ります。



建物配置模型



新しい唐池学園のコンセプト

周辺環境と融合した空間づくり

「綾瀬市吉岡」は豊かな田園地帯です。周囲の自然との共生が、こども・家族・来訪者・職員が快適に過ごせる空間を生み出すベースになると考えます。

将来の養育・支援のニーズに対応しやすい柔軟性

ニーズの変化に対応しやすい柔軟性のある建物として、コンクリートよりも空間の更新をしやすい木造づくりを採用します。

プライベートとパブリックが調和された空間づくり

敷地内をこどもたちが年単位で生活するプライベートな“村エリア”と、地域支援等を行う、地域に開かれたパブリックな“街エリア”を設定して、お互いの過ごしやすさを確保しつつ、つながりを保てるような空間にします。



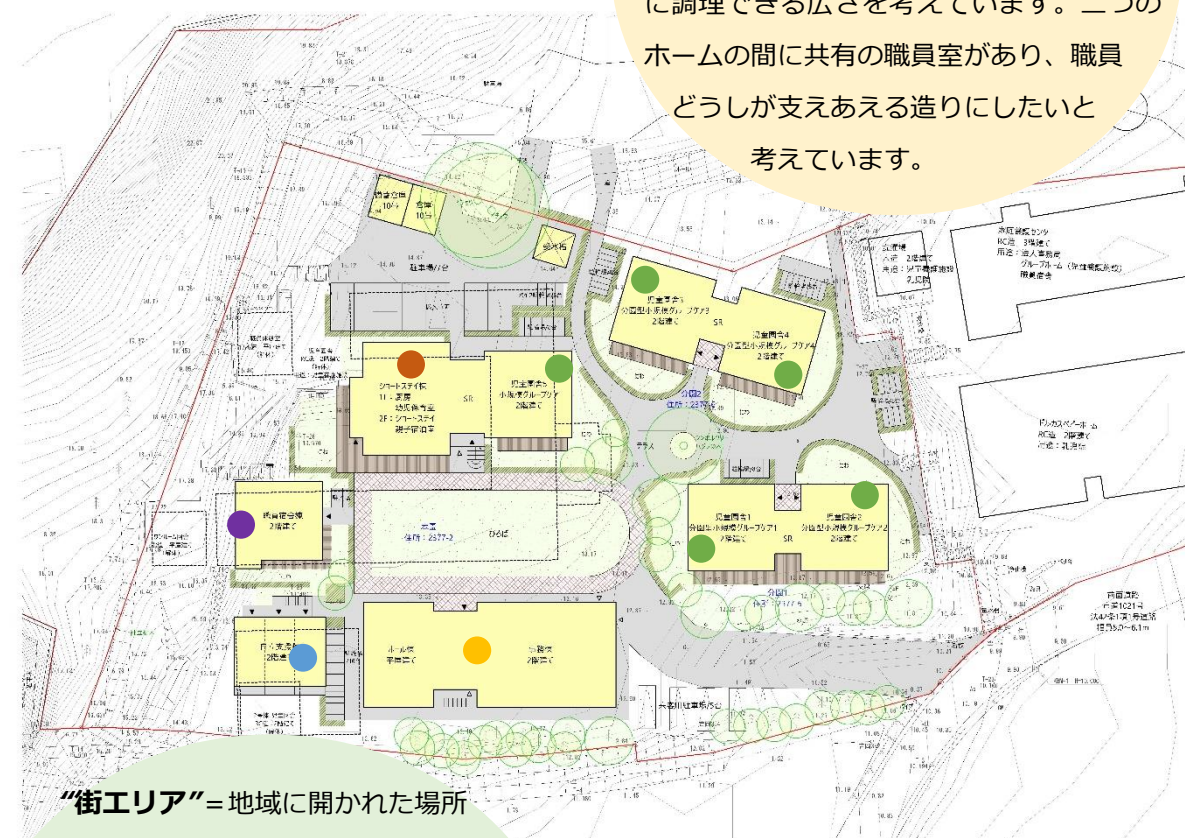
唐池学園は建替えます！！ ②

新しい唐池学園の配置図案

- 児童園舎（5つのグループがあります）
- 厨房・日中保育室（1階）
- ショートステイ・親子訓練室（2階）
- 事務棟 ● 自立支援棟 ● 職員宿舎

“村エリア”＝こどもたちが暮らす場所

今よりも家庭的な雰囲気の中で生活できるように、グループホームを点在させます。各ホームのキッチンには、こどもたちも一緒に調理できる広さを考えています。二つのホームの間に共有の職員室があり、職員どうしが支えあえる造りにしたいと考えています。



“街エリア”＝地域に開かれた場所

子育て短期支援（ショートステイ）や園内の日中保育室、厨房、事務棟、自立支援棟など、さまざまな人が集うエリアです。事務棟には職員が気軽に集える事務所の他に、会議室や面接室、心理療法室、地域交流スペースを設けます。地域の方々にも気軽に立ち寄っていただけるような場所になればと考えています。

★ショートステイ事業は建替に先行して、2024年10月からドルカスベビーホームと共同で綾瀬市より受託して事業開始予定です。

～こどもたちの幸せのために～

国が求める児童養護施設の「小規模化・地域分散化」や「高機能化・多機能化」は、唐池学園に年

単位で住まうこどもたちだけでなく、地域のこどもたちやそのご家族、自立に向けた青年たちの生活を支えるという意味があります。こどもたちの幸せのために、少しずつでも実践できる形を建替えとともに作りたいと考えています。皆様のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

第50回唐池祭 開催のご報告とお礼



2023年10月29日（日）第50回唐池祭を開催することができました。2020年より新型コロナウイルス感染症の影響等で開催を見合わせており、4年ぶりとなりましたが、多くの方々にご協力、ご来場いただき盛況のうちに終えることができました。心より御礼申し上げます。

3年の間に唐池祭を経験したことがない職員も増え、開催を決めた当初は不安なこともありましたが、地域の皆さまをはじめ、多くの方々に助けていただきながら少しずつ準備を進め、無事に当日を迎えることができました。吉岡囃子の太鼓を聞いて「唐池祭が始まった！」という実感がわいてきました。



西部地区民生委員児童委員協議会の皆さま こどもむけボウリングゲームは以前から大人気！



里親会の皆さま 「唐池祭といえばバザー」という方もいらっしゃるので大変たすかりました。



綾瀬市商工会青年部の皆さまは新しいつながりで初参加。ポップコーンやあてくじなど、こどもたちに大人気でした！



ドルカスの焼き鳥と豚汁、貴志園のパンは定番の人気でした。



生活クラブの皆さま 唐池学園で日頃購入している品などをご紹介されていました。



令和6年度 イベントのお知らせ

貴志園主催「しらさぎ祭」のご案内

日時：9月28日（土曜日） 10:00～15:00

会場：貴志園大駐車場とその周辺（綾瀬市吉岡 2381-1）

内容：ステージプログラム（楽器演奏、太鼓演舞、大道芸など）

模擬店（飲み物、かき氷、焼き鳥、焼きそば、綿あめ、ポップコーンなど）

自主製品の販売（そば、パンなど）



唐池学園主催「第51回 唐池祭」

日時：10月27日（日曜日） 10:00～14:00（雨天決行）

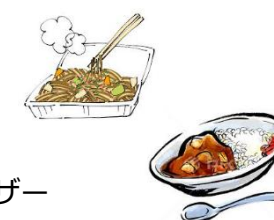
※荒天等の場合、中止することもあります。

会場：児童養護施設 唐池学園（綾瀬市吉岡 2377-口）

内容（予定）：こども主催コーナー、展示コーナー、里親会主催バザー

模擬店（カレー、焼きそば、ジュース、焼き鳥、貴志園パン、etc）

お祭り広場（福引き、その他は当日のお楽しみ）



【貴志園】

一服館 【手打ちそば・うどん】 Tel: 0467-76-6206

営業時間：11:00～15:00 定休日：土曜日・日曜日・祝日

1階の店内でお食事ができます。（テーブル席26／カウンター席9）



Photo: 十割海老天せいろそば



グランドール【パン工房】 Tel: 0467-76-6206

営業時間：10:00～15:00 定休日：土曜日・日曜日・祝日

ご予約・配達も承っております!! ※ご注文・ご予約は、毎週月曜日～金曜日（祝日は除く）9:00～16:00



左の写真は、平成30年6月8日にテレビ神奈川の取材を受けたときのものです。



協力会会費・寄附金をくださった方々の紹介

◀期間：令和5年5月～令和6年4月まで（50音順に掲載）▶

青木 勉 様、赤羽てい子 様、岩村圭子 様、エコチョビ 長谷川富美子 様、
エンドウメタル工業(株) 様、大塚哲朗 様、(株)大友電気 様、緒方健太 様、尾崎英雄 様、
勝俣幸子 様、河尾豊司 様、川邊溪子 様、刑部久子 様、共和総業(株) 様、小泉晴俊 様、
国際ソロプチミストあやせ 様、古塩幸子 様、後藤眞一 様、小林陽子 様、今 壽夫 様、
齋藤政子 様、作田昌己 様、佐瀬睦夫 様、佐藤美喜 様、志澤 勝 様、島村益樹 様、女子学院 様、
(株)杉久保デザイン社 様、鈴木 彰 様、鈴木克政 様、鈴木典子 様、東洋染工(有) 様、
長井晶子 様、中川内宏子 様、中里良治 様、西川誠志 様、額賀智徳 様・法子 様、
野々村力ヨ子 様、服部和子 様、服部信一 様、原瀬克久 様、原瀬光子 様、ぱるりん様
半沢建設(株) 様、藤井剛 様、藤沢北教会 様、二見吉明 様、まちの司法書士事務所 篠原康史 様、
宮島恭子 様、(株)MOTTERU 様、森谷充子 様、山浦雅一 様、山口晴一 様、ユニコン工業(株) 様、
綿引光友 様、綿引裕子 様、その他たくさんの匿名の方々

◀ 施設からの報告 ▶

○児童養護施設 唐池学園

神奈川県共同募金会から配分を受け、ホンダフリード(写真右)
を購入させていただきました。この車は、子供達の送迎などに
大切に使用させていただきます。



また、篠原欣子記念財団からいただ
いた助成金で、グループホーム「ななの
家」の給湯器(写真左)を交換させてい
ただきました。



○児童養護施設 強羅暁の星園

篠原欣子記念財団から「お菓子
等支援助成金」をいただき、園内で
手作りお菓子コンテストを開催し
ました。助成の主旨通り「おやつを
通じておいしい笑顔」が溢れるイ
ベントになりました。



誠にありがとうございました。唐池学園の職員一同、感謝申し上げます



* 共同募金会とは、赤い羽根をシンボルとする共同募金を行う社会福祉法人で、社会福
祉法に基づき都道府県ごとに組織されています。
赤い羽根共同募金は、福祉施設の運営の一部を支えています。
※詳しくは ➡ www.akaihan.or.jp をご覧ください。

今後予定される大型事業等への協力をお願い

昭和40年代に建設された「児童養護施設 唐池学園(昭和43年3月)」と「児童養護施設 強羅暁の星園
(昭和44年1月)」の2か所は、建設から約50年以上が経ち、施設の老朽化から、建替え等の施設再整
備が必要な状況となっています。

入所している子どもたちが安心して、安全で快適な生活を送れる環境整備のため、現在、それぞれの施設
の職員が中心となり、唐池学園については令和7年度途中からの園舎建替え工事の計画(令和8年度中に
完成予定)を進めています。また、強羅暁の星園については、唐池学園に続いての園舎建替え工事を検討中
です。園舎の建替えは、多額の資金が必要となる一大事業となります。この2つの事業の達成のため、
「唐池学園建設基金」・「強羅暁の星園建設基金」へのご協力をお願いいたします。

また、唐池学園協力会では、会員を募集しております。

各位におかれましては、格別のご理解とご協力を賜りますよう、心から切にお願い申し上げます。

◎寄附金(及び会費)は以下へ

＜現金書留の場合＞

〒252-1124 綾瀬市吉岡 2377 番地 唐池学園内 社会福祉法人唐池学園 法人本部 勝俣宛

＜銀行振込の場合＞ * 寄附金専用口座

みずほ銀行 厚木支店 普通預金 No.1 1 5 7 2 0 3 社会福祉法人唐池学園 理事長 鶴飼一晴

※ 寄附金をお振込みいただいた後、領収書をお送りしますので、お手数で恐縮ですが法人本部(勝俣)まで
ご連絡ください。なおこれは、銀行振り込みの場合に限ります。

＜郵便局から払い込む場合＞ * 会費及び寄附金共通口座

所定の払込用紙に必要事項を記入のうえ、ご入金ください。 記号番号：00240-3-139750

以下の手数料のかからない「払込取扱票」は、ご連絡をいただければお送りいたします。

郵便局用「払込取扱票」の記入例

- ①金額を左右2か所に記入
- ②住所・氏名を2か所に記入
- ③電話番号を記入
- ④通信欄の必要事項を記入

●右の見本は、個人の方が唐池学園協
力会の年会費を1口2,000円、寄附
金の目的を「法人に一任」とし3,000
円の合計5,000円を払込みする場合
の記入例です。

●協力会会費につきましては、個人は1口2,000円、団体(法人)は1口5,000円となっております。

※「会費のみ」又は「寄附金のみ」もお受付しています。ご不明な点等がございましたら、ご連絡く
ださい。

【連絡先：社会福祉法人唐池学園 法人本部(勝俣) 電話：080-4897-1867】

払込取扱票		通常払込料金 加入者負担	振替払込請求書兼受領証
02	00240-3-139750	① 5000	00240-3-139750
社会福祉法人 唐池学園		金額 2,000 円	社会福祉法人 唐池学
④ ① 年会費(個人・団体) 口数 1 金額 2,000 円		金額 3,000 円	園
② 寄附金 (1)唐池学園建設基金、(2)強羅暁の星園建設基金、③法人に一任			金額 ① 5000
(4)その他(具体的に) ※会報「贈品倉庫」へのお名前の掲載について ①承諾 ②匿名希望			綾瀬市吉岡2377
252-1124			唐池 太郎 様
綾瀬市吉岡2377			
唐池 太郎			
③ 0467-78 0514			



令和 6 年度 新任職員紹介

所 属	氏 名	趣味・特技	抱 負
唐池学園	王子 萌々夏	映画鑑賞	分からないことばかりでたくさんご迷惑をお掛けすると思いますが、元気に頑張ります。
	神田 悠	ミュージカル鑑賞 登山	子どもたちがそばにいて心地良いと感じられる職員になれるよう、自然体で誠実に向き合っていきたいです。
	永井 穂	野球観戦	明るく元気に頑張ります
	根本 かほり	食べること 犬と散歩	先輩方の技術をどんどん吸収して一人前になれるよう頑張ります。
	萩原 加奈子	お菓子作り	笑顔を忘れず、前向きに頑張ります。
	間宮 星乃香	ライブ・フェス！	前向きに誠実に子どもたちと関わっていきたいです。
	宮脇 啓那	ドライブ だじゃれ	明るさに加えて 子どもたちにとって安心感のある職員になれるように頑張ります。
	渡部 蓮	筋トレ 切り絵	初めての経験ばかりなので、まずは生活の流れに早く慣れていきたいです。そして自分の軸を早く見つけられるように、研修などを通して知識をつけていきたいです。
強羅暁の星園	宮川 瑚白	買い物・ダンス	子ども達と真剣に向き合い、耳を傾け、仕事に慣れるように頑張ります！
	中澤 楓	アウトドア 写真を撮ること	常に遊び心を忘れず！目の前の子どもに全力で向き合い、まずは先輩から沢山のことを学ぶ 1 年にしたいです！
	瀧澤 蓮	バスケットボール ライブ鑑賞、ドライブ	子ども達の日々の成長に貢献出来るように、一人ひとりに向き合って支援して行きたいです！
ドルカス ベビーホーム	金澤 寛子	キャンプ すぐ寝られる	一歩ずつ前へ。焦らず、少しずつでも確実に進んでいきたいです。
	有賀 かおる	ミュージカル鑑賞	いつも明るく元気でいられるよう心がけて、みんなと仲良く楽しくやっていきたいです。
	森木 美寿々	バイク・ドライブ キャンプ・野球	子どもの気持ちに寄り添い、子ども達が安心して楽しく過ごせるように心掛けて行きます。
	霜島 朋美	サッカー観戦 パン作り	子どもたちの気持ちに寄り添って関わり、毎日楽しく過ごせるように努めたいと思います。
吉岡保育園	阿部 心桜	愛犬ポンタと遊ぶこと	1 年目でまだまだ未熟ですが、子ども達の元気に負けないぐらい元気いっぱい頑張ります。
	小田切 花	体を動かすこと サッカー	子どもが毎日楽しめるように元気と笑顔いっぱい頑張りたいです！！
つぼみ保育園	小松原 早智子	文房具集め	4 人の息子を育てた経験も生かして、たくさんの優しさや時には厳しさを注いでいきたいと思っています。
	阿部 朋子	着物・御朱印集め・工作・ 絵本集め ほか	多趣味や一般業での経験で得た知識を保育に活かし、子どもたちの名前と顔を覚えて、どのクラスの子どもたちとも楽しく遊べるようになります。



令和 5 年度決算報告（法人単位貸借対照表）

令和 6 年 3 月 31 日現在

（単位：円）

資産の部		負債の部	
科 目	当年度末	科 目	当年度末
流動資産	501,417,781	流動負債	181,323,749
現金預金	294,450,907	事業未払金	88,038,906
事業未収金	173,193,998	1 年以内返済予定設備資金借入金	19,282,000
未収補助金	12,875,260	1 年以内返済予定リース債務	1,458,820
原材料	432,436	未払費用	6,332
立替金	13,475,655	預り金	669,728
前払金	4,499,322	職員預り金	12,886,263
前払費用	1,471,743	前受金	500,000
仮払金	1,018,460	賞与引当金	58,481,700
固定資産	2,682,743,348	固定負債	285,300,480
基本財産	1,141,406,208	設備資金借入金	124,416,000
土地	336,043,225	リース債務	2,491,280
建物	805,362,983	退職給付引当金	158,393,200
その他の固定資産	1,541,337,140	負債の部合計	466,624,229
土地	34,918,541	純資産の部	
建物	97,812,714	基本金	618,305,701
構築物	23,774,501	基本金	618,305,701
機械及び装置	2,957,907	国庫補助金等特別積立金	566,911,099
車輛運搬具	10,633,899	国庫補助金等特別積立金	566,911,099
器具及び備品	27,315,511	その他の積立金	1,167,026,254
建設仮勘定	9,389,000	人件費積立金	249,700,000
有形リース資産	3,950,072	工賃変動積立金	1,000,000
権利	1,701,200	施設整備等積立金	724,176,254
ソフトウェア	1,945,211	保育所人件費積立金	43,000,000
退職給付引当資産	158,393,200	保育所施設整備積立金	149,150,000
人件費積立資産	249,700,000	次期繰越活動増減差額	365,293,846
工賃変動積立資産	1,000,000	次期繰越活動増減差額	365,293,846
自動車リサイクル預託金	125,130	（うち当期活動増減差額）	140,660,802
差入保証金	1,394,000		
施設整備等積立資産	724,176,254		
保育所人件費積立資産	43,000,000		
保育所施設整備積立資産	149,150,000		
		純資産の部合計	2,717,536,900
資産の部合計	3,184,161,129	負債及び純資産の部合計	3,184,161,129

※その他の詳細は、法人のホームページ（URL：https://www.houjin-karaike-g.org/情報公開/）をご覧ください。



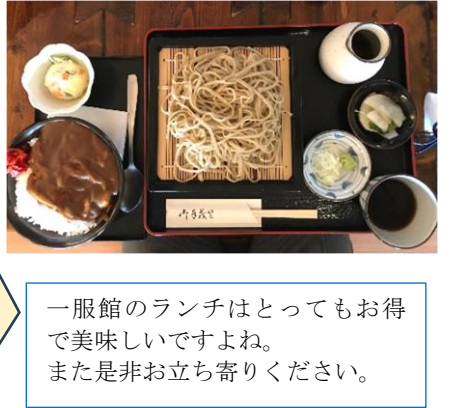
4 月 1 日にレンブラントホテル海老名で、辞令交付式と新任職員研修が行われました。

研修では、理事長から「福祉人としての基本的な心得」を、田中理事から「人権擁護と虐待の防止」を学びました。また、新任職員一人ひとりから「仕事をする上での夢・頑張りたいこと」について力強い!? 宣誓がありました。皆さん、この日のことを忘れずに頑張ってください。

読者の皆さまからの感想やご意見

読者プレゼントの応募の際にいただいた感想や意見の中から一部を紹介させていただきます。

晩秋のある日、久方ぶりに「一服館」でのランチを夫婦で楽しみました。妻はAランチ、私はCランチ。Cランチはおそば（せいろそばまたはかけそばを選べる）に辛口カレー（サラダつき）がついて、税込み920円とはとってもお得です。食欲の秋にふさわしい、ボリューム満点のランチをおいしく頂きました。まさに「一服館」で「満腹感」を味わうことができ、大満足でした。ごちそうさまでした！（綾瀬市W様）



一服館のランチはとってもお得で美味しいですね。また是非お立ち寄りください。



非常に学ぶことの多い内容でしたね。

ネコから学ぶ心理臨床を読んで、人との距離の取り方、距離の縮め方など共感するところもあり、とても興味深く読ませて頂きました。心に傷を持った方とどう接していくか、何を感じ取るかは、動物も人間も同じなのかもしれないと思いました。エピソードに温かい気持ちになりました。（座間市N様）

『雑品倉庫』、なんと妙なネーミングですね。中身も充実で読み応えあり。施設のお便りではなく、法人の会報ともなると装丁も立派。10年ほど前に横浜市内の施設に勤務していた時、摩尼先生をはじめドルカスの皆様にお世話になったことを懐かしく思い出しながら読みました。縁あって今年度は県域の施設に勤め始め、回覧物を担当しているなかで、『雑品倉庫』に出会った次第です。思い出を温めすぎて、応募が締め切りぎりぎりとなりました。次号も期待しています。（横浜市戸塚区T様）

「雑品倉庫」の名前の由来については、令和2年7月発行の第69号で摩尼理事が執筆し紹介しています。法人のホームページ（法人ブログ）からも閲覧できますので、よければご覧ください。

続編、楽しみです。ご期待に添えるよう調整させていただきます。

毎回楽しく拝読させていただいておりますが、今号については、特に役員寄稿の～私の出会った人たち～の物語に興味をひかれました。続編をぜひ希望いたします。（八王子市I様）

「野の花のこと（28）雑草というけれど」散歩をしていても、綺麗に咲く花ばかりみていましたが、今度は目線を落としてみようかなと思います。（綾瀬市S様）

普段見ていない所に目を向けると、色々な発見があるということですね。このシリーズのお陰で、私は毎年少しずつ、草花の知識が増えています。



今回掲載できなかった感想やご意見も沢山ありますが、ご紹介できず申し訳ありません。今後の誌面の充実に活用させていただきます。皆さま、ご応募ありがとうございました。（庶務：勝俣）

役員等名簿（令和6年7月1日現在） * 敬称は省略させていただきました。

区 分	氏 名
理事（6名）	鶴飼 一晴（理事長）、摩尼 昌子、富岡 貴生、田中 晃、笹野 つる子、加園 貴代子
監事（2名）	長井 晶子、柏倉 正
評議員（8名）	高松 邦夫、鈴野 敏、山口 晴一、今 壽夫、森谷 充子、古塩 幸子、服部 和子、後藤 真一
評議員選任・解任委員（4名）	長井 晶子、阿部 浩行、鈴木 美恵子、稲垣 美千子
第三者委員（3名）	宇野 けい子、原田 貴子、矢部 美奈子

♪ 読者プレゼントのお知らせ ♪ ～ 雑品倉庫の感想・ご意見をお寄せください ～

A賞『貴志園 2024 冬のギフト：10名、 B賞『一服館そば打ち体験ペア券』：5組

応募方法 官製はがき又は e-mail に「住所」、「氏名」、「電話番号」、「希望商品」、「雑品倉庫の感想・意見等」をご記入のうえ、事務局までご応募ください。※ 応募多数の場合は抽選 e-mail の場合は、件名を「読者プレゼント応募」としてください。

応募〆切 令和6年12月6日（金曜日）消印有効

※ 当選発表は、賞品の発送（年内予定）をもってかえさせていただきます。 ※ 『雑品倉庫の感想・意見等』は、次号の紙面で紹介させていただく場合がありますので、ご承知おきください。



昨年のプレゼント（内容は変わる予定です）

< 編集後記 >

掲載された「戦後横浜の戦争孤児を保護した民間児童養護施設」の論文を知ったのは、勝俣事務局長が唐池学園の歴史を後世に残そうと「むぎめし学園」が映画化された背景を調べていたのがきっかけでした。先代理事長の言葉一つ一つが唐池学園のアイデンティティであり、時代に翻弄されながらも、出会いと別れの中で子どもや障害のある方と共に日々歩んできた道のりが、80年という歴史となって今に繋がっていることを、これからも大切にしていきたいと思います。

広報・研修委員会 委員長 富岡 貴生

発行者 唐池学園協力会
編集者 社会福祉法人唐池学園 広報・研修委員会 委員長 富岡 貴生
編集委員 川本 由美子、斉藤 優、千葉 和美、木谷 理沙、岩内 亜矢、小山 信、勝俣 浩之
事務局 〒252-1124 神奈川県綾瀬市吉岡2377番地0号 唐池学園内（担当：勝俣 浩之）
電話：0467-78-0514/080-4897-1867 Fax：0467-76-3006
e-mail：karaike-honbu@bz04.plala.or.jp URL：https://www.houjin-karaike-g.org/